

■■■■ 心得 ■■■■

～ 校内での配慮事項 ～

- 校内では必ず名鑑をつけ、所属を明らかにして下さい。
- 校内ですれ違う生徒には必ず挨拶をしてください。
みなさんは世の大人の見本です。
- 青年部には稀に50歳がいます。
息が上がって授業になりませんので、上層階への荷物運びは若い人が行いましょう。

～ 授業中の配慮事項 ～

- ・ お父さん、お母さんがいない生徒もいるので呼称に気を付ける
例： おうちの人 、 家族
- ・ 話す時は前を見て、生徒達と目を合わせる
- ・ 極力沢山の生徒に手を挙げ回答してもらう
- ・ 分かりにくい意見も否定せず、「**ってということかな？」と要約して聞き返してあげる
- ・ 税金の使途などで先生の給与に触れない
- ・ "みんな"(で)(が)(の)という言葉で協調し、無関係／無関心ではいられないことを知ってもらう